

Q&A 安全・安心なまちづくりについて



宗實 雅典 議員

MASANORI MUNEZANE



**災害に備えた安全・安心なまちづくりについて**

**問** 近年、多発する自然災害に備え、本市における災害発生時の避難所対応について以下を問う。

各地区の主要避難所は学校の体育館あるいは公民館になっているが、3密にならないようコロナ感染対策、また、熱中症対策についてどうなっているのか。

**答** 兵庫県の「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営ガイドライン」に、ソーシャルディスタンスに配慮したゾーニングや間仕切りの設置などが示されており、避難所が密になる恐れがある場合には、これらを参考に臨機応変に対応していく。

また、避難所の換気については、市内小中学校体育館のうち9館は、施設改修に合わせすで

に換気扇の設置が完了しており、他の施設についても、換気設備の導入支援を活用した設置を検討中である。

**問** 神岡地区の避難所に神岡公民館が指定されている。今後、

コミュニティセンターへ移行すると聞いているが、避難所としてのどのような対応になるのか。

**答** 避難所開設の際は、移行後においても、市の避難所担当職員を配置し、これまでと同様に対応していく。

**保育園や子ども園における食について**

**問** 子育て支援の観点から考え、主食と副食を同時に提供することはできないか？

**答** 現状では調理員や調理設備の配置等の課題があり、直ちに主食の提供は困難。給食の衛生管理や子育て支援などの点から主食の提供についても今後検討していく。

その他の質問事項

● 発電設備の現状と今後の取組について

Q&A 緊急時の予備人材確保のため、有償ボランティアを活用する体制を



和田 美奈 議員

MINA WADA



**新型コロナウイルス感染症対策について**

新生クラブとして、5月に市長宛にコロナ対策の提言書を提出した。それに基づき質問する。

**問** 外出自粛に伴う高齢者の健康被害が増加している。コロナに配慮しつつ健康寿命を延ばすための対策は考えているのか。

**答** 運動不足による筋力の低下が懸念される。介護認定の申請が、秋以降増えることも予想されるため、注意深く見守り、フォローしていくことが必要。本年度から行う「健康長寿化事業」とも合わせて、中長期的に取り組んでいきたい。

**問** 特別定額給付金の支払い業務において、迅速な対応に感謝したい。今後、緊急時の予備人員の確保策として、市や消防などを退職された方に有償ボランティアとして登録いただき、研修し、災害時の避難所の運営な

ども協力頂く体制を作ってはどうか。

**答** 災害の規模によっては、職員だけの対応では間に合わない事態も考えられるため、検討していきたい。

**問** 東京上空のブルーインパールの飛行、日本一斉の花火の打ち上げなど、コロナ禍でお互いが感謝をし合う社会作りは、差別を減らし、気持ちを前向きにし、経済効果も生むものである。子供達に対しても、医療関係者、教職員、行政関係者、両親、地域の皆様など、支えて下さっている方に対する感謝を教えることは大切。皆でコロナを乗り切るために、市民全体で感謝の気持ちを送り合うキャンペーンができないか。

**答** 市民の皆様にはコロナ対策の備品を寄付頂いたり、見守りを行っていただいている。感謝の気持ちをもち、それを伝えることはお互いに喜びになる。何らかの形で取り組んでいきたい。

その他の質問事項

● 医療体制、学校教育の対応  
● 経済効果ある事業の立ち上げ  
● 教科書採択について 等